

令和3年度 学校関係者評価 報告書

令和3年12月

いわき市医療センター看護専門学校

【目次】

1 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員
- (3) 学校関係者評価委員会の開催
- (4) 学校関係者評価方法

2 学校関係者評価の評価結果と内容

- (1) カテゴリーⅠ 学校経営
- (2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動
- (3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策
- (4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援
- (5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政
- (6) カテゴリーⅥ 施設設備
- (7) カテゴリーⅦ 教職員の育成
- (8) カテゴリーⅧ 広報
- (9) カテゴリーⅨ 地域との連携

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ① 実習指導者、同窓会等卒業生、看護師養成所教員経験者、母体病院職員等の学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営や教育活動等の課題を明確にし継続的な改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「いわき市医療センター看護専門学校学校関係者評価委員会運営要綱」に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員

- ① 任期 令和3年7月15日から令和4年3月31日
- ② 委員名簿

氏名	区 分
安藤 圭子	学生指導協議会の委員
坂本 美智子	専門学校同窓会の会員
寺田 真紀子	専門学校の卒業生
泉 晶子	大学又は看護師養成所において教員としての勤務経験を有するもの
杉野 剛	いわき市医療センター事務局の職員

(3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時： 令和3年7月26日 13:30～15:30
場所： 本校2階会議室
内容： 委嘱状交付
学校関係者評価委員会の概要説明
令和元年度自己評価結果の説明
授業見学、施設案内
第2回委員会の概要説明
委員長、副委員長の選出
- 第2回委員会 日時： 令和3年9月28日 13:30～14:30
場所： 本校2階会議室
内容： 自己評価結果の評価結果
意見交換、提案等
まとめ

(4) 学校関係者評価方法

- ① 自己評価結果について、「適正」か「不適正」の評価をする。
- ② 評価事項、評価内容、その他学校運営等について改善の意見提案を行う。

2 学校関係者評価の評価結果と内容

※ 評価結果 の用語について

「自己評価の平均」とは

⇒ 看護専門学校職員が、カテゴリー別の評価事項について5段階で自己評価したものの平均の数値

- 5 : できている
- 4 : ややできている
- 3 : 普通
- 2 : ややできていない
- 1 : できていない

「学校関係者評価の結果」とは

⇒ 看護専門学校の教職員による自己評価の結果が、「適正」なのか「不適正」なのかを学校関係者評価委員（5人）が評価した結果

(1) カテゴリー I 学校経営

評価結果

自己評価の平均

4.67

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 毎年全教員でSWOT分析を実施していることから、教員各自が現状を理解したうえで目標を策定できていると考える。また、繰り返しきちんと実施していることから、年々、目標値の向上につながっている。
- ・ 医療センター看護専門学校条例や医療センター看護専門学校学則等、関係規定を遵守し、適正に学校運営が行われており、学校内部の事務並びに意思決定等についても、市病院事業分課規程や市病院事業職務権限規程等の諸規定に基づき、適正に進められている。
- ・ 保護者による2回/年の学校評価と学校関係者評価により、学校運営が公平に行われている。
- ・ 令和2年度は、新型コロナウイルスによる感染拡大等を踏まえ、教務会議を頻回に開き、カリキュラムを変更する等、状況の変化を捉えた機動的な学校運営が行われている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動

評価結果	自己評価の平均	4.48
	学校関係者評価の結果	適正5人：不適正0人

- 評価できる点
- ・ 実習では、学生指導協議会、臨地実習指導者会議、臨地実習授業評価検討会等が定期的開催されているため、実習指導者と教員の実習指導における協働ができています。
 - ・ 教育理念・教育目標が明確に示されている。教育課程の評価を毎年行い、シラバスの修正に反映させ、学生にも周知されていることにより、学生と学校施設との指導の統一が図られている。
 - ・ 実習評価のルーブリック導入で、学生にとってわかりやすいものとなっており、学生自身の振り返りや新たな目標設定、課題の抽出がしやすいものになっている。
 - ・ 2022年4月入学の学生から実施を予定しているカリキュラムの変更を見据え、既に見直し作業に着手しており、実習施設の範囲拡大を踏まえ、実習環境の調整も開始する等、中長期的な視点に立った取組みが進められている。

- 改善の意見提案
- ・ iPadの導入、パソコンの整備、電子黒板等、IT化の時代に合わせた授業を取り入れることができています。一方、授業見学の感想として学生が他のグループ発表の感想を挙手や代表が声を出して発表するのではなく、匿名の感想を画面上で待つ場面が少し違和感があった。
IT化により合理的になることは良いことだが、学生には今のうちに自分の名前での自分の意見を発表する場面を学んでほしいし訓練もしてほしいと感じた。
便利なことと不便なこと、自分の言葉に責任を持つことをバランスよく学んでほしい。

- 現状や改善の方策等
- ・ IT化においては、その利点をどう活かすかが大切で、授業の構成の中で効果的に配置し、授業目標が達成できるようにしていきたい。自分の言葉に責任を持つのは大切なことで、主体的に取り組む授業や臨地実習を通して身につけさせていきたい。看護にはより良い対人関係を作ることが大切であり、そのためのコミュニケーション能力を身に着けることも当校の教育目標としているところである。教育の多くの場面でIT化は進むものの、学習の効果やねらいを明確にしたうえで、どのような教育方法が適しているのかを、教員も研究し授業に活用していきたい。

(3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策

評価結果	自己評価の平均	4.61
	学校関係者評価の結果	適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 昨年は特にコロナ禍ではあったが、自宅学習の支援やオンライン会議システムの活用などがタイムリーにできていたのではないかと思う。
- ・ 国家試験の合格率が10年連続100%、進路決定率100%は高く評価される。
- ・ 1年生の段階から就職ガイダンスを実施するなど、卒業後のキャリア形成に係る助言・指導等が適切に実施されており、最重要事項である看護師資格の取得（国家試験の合格率）についても、10年連続で100%を達成する等、公立の看護師養成所として、医療人材の確保に大きく貢献している。

改善の意見提案

- ・ 医療創生大学が平成29年4月に看護学部を設置する等、本市における看護師の育成環境等に変化が生じていること、また、少子化の進行に伴い、学生数が年々減少していくと想定されることから、引き続き、魅力ある学校づくりに努めるとともに、学生の確保に努めていただきたい。

現状や改善の方策等

- ・ 地域医療に貢献する強い意志があり、優秀な学生をより多く確保するために、昨年度推薦入学の応募人数を増やし、受験資格の評定平均値を3.8に引き下げた。結果推薦入学の希望者が増加した。
- ・ 次年度より運用となる新カリキュラムにおいては、授業の中で地域住民と触れ合う機会を増やし、臨地実習施設も増やした。学生がより地域に根差した医療従事者となることをねらうとともに、地域住民からも認識していただく機会が増えると思われる。いわき市における保健・医療・福祉システムの一端となる施設を目指すことで、市民にとって魅力ある学校となることを期待する。
- ・ 広報活動、地域を巻き込む授業や臨地実習の設定など認知度をあげていきたい。

(4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援

評価結果

自己評価の平均

4.53

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 健康管理について各学年の生活担当者を決めて相談できる体制は、学生にとって安心できる環境である。
- ・ 各学年3名の担当教員、学年をこえた交流グループと各グループ2名の教員など、きめ細やかな支援体制がとられている。
- ・ 実習において、4種抗体ワクチンの接種の他にコロナウイルスワクチンにおいても計画的接種の実施と感染拡大防止に努め、安全に配慮されている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応として、検温の実施に加え、喫食時の感染を防止するため、各生徒の食事場所をあらかじめ指定し、密の発生を未然に防ぐなど、学生の健康管理についても適切に行われている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(5) カテゴリーV 管理運営・財政

評価結果

自己評価の平均

4.54

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生自治会によるアンケート調査・学校教員との意見交換の実施により、学生の意見が学校運営に十分反映されている。
- ・ 危機管理マニュアルの見直し、改正を行い、武力攻撃やハラスメント等の対応に努めている。
- ・ 毎年度、授業料等の未納はなく、予算についても適切に執行されているほか、令和2年度に開始された、新たな高等教育の修学支援制度についても、適切に運用がなされている。
- ・ 携帯メールへ一斉配信が可能な「グルリンシステム」を活用し、速やかな情報発信と共有ができています。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(6) カテゴリーVI 施設設備

評価結果

自己評価の平均

4.22

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生のためのスペースもコロナ対応の工夫をして使えるようになっている。
- ・ 限られた予算の中で優先順位を決めて修繕・整備がなされている。
- ・ PCの更新、病院の廃棄ベッドの活用、Zoomを使つての遠隔授業など、設備が整えられている。

改善の意見提案

- ・ 令和3年2月の地震により不具合が生じ、使用を控えている体育館については、可及的速やかに善後策を検討する必要があると考える。
- ・ 施設全体の老朽化については、施設の維持管理方針等、継続して検討してほしい。

現状や改善の方策等

- ・ 体育館についてはレクリエーション理論の授業だけでなく、文化祭などの科目外活動、学生交流に大切なクラブ活動や自治会活動など多くの目的で使用してきた。新カリキュラムにおいてもこれらの活動は継続されるだけでなく、地域住民への保健指導など新しい授業での使用を予定している。学生生活においても必要な施設であるため、予算措置後速やかに修繕する予定である。
- ・ 施設全体の老朽化については、医療センターにおいて、令和4年度中に建築物等の定期点検を行い施設管理計画の策定を行う予定であり、その計画に沿った施設の維持管理及び修繕が進められる予定である。

(7) カテゴリーⅦ 教職員の育成

評価結果

自己評価の平均

4.47

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 教員の研修、研修成果の還元、臨床看護研修などのシステムが確立し、専任教員ラダーシステムも動いており、教職員の育成のシステムは定着してきている。
- ・ 教員が定期的に研修や学会に参加しており、自己研鑽するために努力されている。
- ・ 教員が他の教員の授業を自由に参観し、意見交換を行える場が設けられている等、学校内においても、教職員のスキルアップに向けた機会が設けられており、常に教職員の育成を意識した仕組み（制度）が確立されている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(8) カテゴリーⅧ 広報

評価結果

自己評価の平均

4.58

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ ホームページ、Facebook等で効果的に情報公開がされている。
- ・ 学校行事や学生生活を紹介する一方、学生募集要領にQRコードを掲載し、Facebookへのアクセスを簡便にする等、機会を捉えた広報が実施されている。フォロワー数及びリーチ数は前年度を上回っており、取組の効果も表れているものと判断される。

改善の意見提案

- ・ 情報をとりやすい現在、いろいろな方法でアピールすることが大切である。

現状や改善の方策等

- ・ これまでホームページやFacebookで情報発信は行ってきたところであるが、ホームページの内容として、入学生のアンケート結果や国家試験の合格率、卒業生の就職先、卒業生のインタビュー内容などを充実し、具体的にアピールしていく。
また、今年度webで行った学校見学会の動画を再編集し、いわき市医療センターの公式youtubeチャンネルへの登録を予定している。今後も活用できる媒体を利用し情報発信をしていきたい。

(9) カテゴリーⅨ 地域との連携

評価結果

自己評価の平均

4.00

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ コロナ禍において、ボランティア活動、地域連携は難しいところだが、可能な限り努力されている。
- ・ コロナ禍であり、例年の活動が中止されているが、いつでも参加できるような体制を整えている姿勢は地域との連携協力となるので継続してほしい。
- ・ 御厩小学校の総合学習への協力や、田人中学校での出前講座の実施等、地域社会にも十分貢献されているものとする。

改善の意見提案

- ・ コロナ感染症予防のため、地域での活動に制約がある。コロナ収束後は、以前のように活発に活動してほしい。

現状や改善の方策等

- ・ コロナ収束後の学校活動は、その時の社会状況を考慮しながら活動を再開したい。看護学生として相応しい行動ができるように学生とともに考え、地域の保健活動にも参加できるようにしていきたい。